



Contents

新本館の完成に寄せて …① 新病棟ごあんない 外来…② 手術室、検査室 …………③ 放射線科 ………④ 薬局、事務部 …………⑤ リハビリテーション室…⑥

発行年月日/ 平成28年11月30日 発行人/院長 難波 義夫

テレン院長 難波 義夫 〒719-0104 岡山県浅口市金光町占見新田740 e-mail konkou-hos@mx1.tiki.ne.jp 集/金光病院広報委員会 TEL(0865)42-3211代・FAX(0865)42-5801 URL http://konkohp.jp/

新本館の完成に寄せて 金光病院 理事長・院長 難波 義夫

長く暑い夏もやっと過ぎ、秋から冬に季節も移ってきます。さてこのたびは、新本館が完成し、9月20日より 新しい場所での、外来を中心に業務を開始することができました。現在旧本館解体工事のため皆様に多 大なご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。

旧本館は、耐震の問題があり、また、手狭になっており、耐震工事を行うか、新築をするか、また、新築の 場合は新規の場所を探すのか、いろいろ検討しましたが、浅口市、金光教様のご協力もあり、周辺土地の 購入等スムーズに事が運び、建物内に老人保健施設を併設し、このたびのような仕様で新本館が完成い たしました。関係して下さった皆様に深く感謝いたします。外来も、診察室、レントゲン室、検査室が同じ階 でまとめることができ、従来のように階段を使って移動するような不便はなくなっております。工事はまだ、途 中で、旧本館を解体、土手から直接正面玄関に入れるよう工事を進めており、駐車スペースも百数十台 患者様のために準備できる予定です。出入り口の不案内等ご不便をおかけしておりますが、来春まで今

しばらくご辛抱お願いいたします。

来春からは、医療のみならず、介護の分野 にも手厚いサービスを提供できますように職員 一同精進していく所存です。建物だけでなく、 医療・介護の質もレベルアップに努力いたしま す。皆様のご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願 いいたします。



外来·主任 守屋和子

9/20より、新棟での外来診療を開始いたしました。それに伴い、職員のユニフォームも一新しました。

待合室の椅子は里見川の桜をイメージした色合いにし、診察室は緑・中央処置室はオレンジ・検査室は紫と統一しました。また、音楽を流すようにして、診察をお待ちの間を落ち着いた雰囲気の中で過ごしていただけたらと思います。



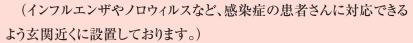
新棟に移動となり、以下のことが変わりました。

レントゲン・内視鏡を始めとした種々の検査室と外来が同じフロアになりました。

今までは検尿やレントゲン検査のフロアが違い、ご不便をお掛けしておりましたが一つのフロアで検査が 行えるようになりました。



- 診察室の外科・内科等、一部の表示をやめ、番号表示になりました。
- 事故防止の観点から本人確認の徹底のために、外来基本票のファイルを患者様に持って頂くことにしました。
- 点滴室・化学療法室を別の部屋にし、チェアベッドを増設しました。
- 発熱外来を設けました。





現在はまだ旧外来棟の解体・駐車場整備の工事中で、正面玄関の利用ができず駐車場も少なくなっています。まだまだご迷惑をお掛けしているのが実情です。(来年四月にグランドオープンの予定です。)建物やユニフォームだけでなく、職員一同気持ちを一新して、「金光病院に来てよかった」と思っていただけるように医療を提供していきたいと思っております。













手術室

看護部·主任補佐 三宅 悦子

手術室は2部屋あり、1つは手術室の空気清浄度をclass 100とし0.5 μm以上の浮遊粒子を捕捉し整形外科の人工関節置換術にも対応できるクリーンルームとなっています。

また、シーリングペンダント(天井懸垂アームシステム)を採用し、安全性 と高い作業性を追及し、快適な手術 空間を作っています。外科用手術に は内視鏡手術システムを導入し、腹 腔鏡手術にも対応しています。



また、サンダービート リガシュアー等を配置し、肝切除、膵頭十二指腸切除術など 高度な手術にも対応しています。

手術室の基本方針は、手術を受ける患者様の権利と安全を守ることです。緊急手術にもスムーズに対応できる体制を整えています。手術は、麻酔医、医師、看護師の医療スタッフチームで行いますが、その中心は患者様です。患者様は、病気そのものの不安に加え、麻酔や手術に対する不安はとても大きいと思います。そのため、手術室看護師は術前訪問を行い「手術室の中はどうなっているのか」「痛みはないか」「寒くはないか」などの疑問についてお答えして、不安の軽減に努めています。また、手術室では患者様の希望のBGMを流すなど、金属音を少なくし、リラックスできる環境づくりに配慮しています。

検査室

検査室・係長 丸本 優子



範囲におりますので、検査に不安がある場合は今まで のようにお声がけいただければと思います。

また、心電図、超音波検査室は、入院患者様のプライバシーを守りつつ、外来患者様の移動しやすい位置となりました。

検査技師が直接患者様と接する機会はあまりありません。しかし、私達の仕事は常に"人"と関わることだと思っています。こらからも患者様に優しい医療が提供できるよう努力していきます。

放射線科

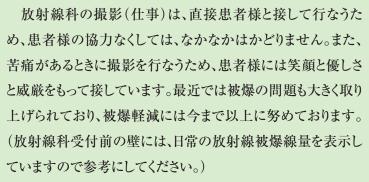
放射線科技師長 原田和朋

部署紹介に5年ぶりの登場です。男性5名の職場に変化はありませんが、平成28年8月15日より新棟に移転し、CT、MRI、一般撮影、透視装置、乳房撮影、ESWLと放射線機器が一新しました。CTは4列から80列マルチスライスになり、高速撮影および高速画像



再合成、被爆低減となり検査時間も短縮されました。また開口径は78cmと広くなり圧迫感が減少しました。 MRIは、前機器に比べ撮影時の音が静かになり、また開口径も70cmと広く圧迫感が減少し、リラックスできる検 査環境となりました。一般撮影も17×17インチFPDの採用により体格の大きな方でも撮影可能となり、画像表示も短く、被爆低減とともに検査時間が短縮となりました。(ポータブル撮影もFPD採用によりその場で画像

が確認でき、画像も無線送信が可能となりました。)乳房撮影は乳房撮影室を設置し、A4サイズのFPDを採用により乳房の大きな方でも撮影可能となりました。透視装置もFPDを採用しました。追加機能として嚥下造影、全脊椎撮影も可能となりました。ESWL(体外衝撃破砕機)も新室を設置しました。前機器より、治療音が静かになり、治療時間も短くなっています。



病院は、診察時間外での仕事も多く家族の協力なくしてはなりたたない職場だと思っています。(家族の方々の協力に「ありがとう。」の感謝)これからも、放射線科一同、病院の理念、基本方針を念頭に頑張っていきたいと思います。









薬局紹介



薬局長 姫路 洋子

現在薬剤師5名です。

新館ができ薬局は病棟2階の透 析室があった場所に移りました。

内部を改装し調剤室、混注室、 DI室に分け新築同様素晴らしい 部屋となりました。



外来とは少し遠くなりましたが、病室も近くなり病棟業務・DI業務に力を入れていきたいと思っています。

(私も長く勤務したおかげで2回目の引っ越しとなりました(笑))

今までに無かった窓のある薬局で、眺めは最高です。春 には桜が目の前に広がるでしょう。今から春が楽しみです。





事務告 新本館オープンを迎えて 事務部長 福田 修



去る9月20日、外来機能はすべて新本館に移転致しました。計画から2年半、着工から1年半を要した新本館建設プロジェクトも漸く、第1段階を終えることができました。工事期間中におきましては、患者様には駐車場の不足や騒音等多大なご不便をおかけすることとなりましたことをお詫びいたします。10月からは、旧本館の解体工事及び跡地の整備を行い、来年2月末にはすべての工事が完了する予定です。完成後には、正面玄関前に30台程度の駐車スペースを確保するとともに、新本館地階駐車場も拡張されますの

で、従来よりも駐車台数は増加し、患者様の利便性は一層増すことと確信いたしております。また、来年度には、介護老人保健施設も併設され、「地域の人々の『健康』と『命』を大切にします」という弊院の理念の達成に一歩前進することになります。あと数ヶ月、工事は継続しますが、皆様には、来春を楽しみにお待ちいただきたいと思います。

リハビリテーション室 作業療法士 池田 香苗

♪ 」 □ ♪ 」 □ ♪ 」 □ ♪ 」 □ ♪ 」 □ ♪ 」 □ ~ あの音楽~ ♪ 」 □ ♪ 」 □ ♪ 」 □ ♪ 」 □ ♪ 」 □ ♪ 」 □ ♪ 」 □ ♪ 」 □ ♪ חולחולחול

なんということでしょう~

あの狭く、暑苦しく感じた(誰のせい?山内…いや、汗かきが大勢…)リハビリテーション室がリノベーション で開放感のある広い空間に見事に生まれ変わりました。









皆さんが利用していた、売店や病棟への廊下もリハビリ テーション室に大変貌しました。スタッフや患者様が増え、 肩をぶつけ合いながら行っていましたが、より広く自由な 空間となり、リハビリの内容もより豊かに出来るよう、私たち スタッフも研鑽に励んでいます。

今回大きく変わったのが、リハビリテーション室の一角に できた「家」です。

当院では、この地域にある一般的なお宅をリフォームし たらどのようになるかを考え、また希望の多かった和式で の生活練習が出来るよう、実際の家で用いる台所、洗面 所、お風呂、和室を作りました。喧嘩して家出した時でも 安心して生活できる位の充実したスペースとなっていま す。(誰が一番先に駆け込み寺として使うでしょうか?)高 齢者世帯や独居、自分のことは自分でしたいと希望され る方が増えており、「料理をしたい」「昼は畳の上で過ごし たい」「下着だけでも自分で洗濯したい」「家の風呂に入 りたい | 等の様々な希望が聞かれます。病気や怪我をし て退院後の生活に不安や不満をお持ちの幅広い身体状 況の方に、退院後のより望まれる生活に向けた練習や提 案が出来る場所になっています。

家族にいつまでもおふくろの味を食べさせてあげたい 方! 食べたいご家族の方! 畳で気持ちよく寝たい方! 安 心して病気・怪我をして、とは言えませんが、退院後の生 活を見据えてスタッフ一同、全力でお手伝いできる体制 づくりを整えています。

さわやかな涼しい風が吹き抜けるようになっていますの で、自動ドアの前に立って、新しくなったリハビリテーション 室を覗いてくださ~い。

♪」□♪」□♪」□♪」□~ほら、あの音楽 が聞こえてきたでしょ~」□♪」□♪」□♪」□♪」

透析

看護部·主任 嶺 治美

腎臓病を発症すると、腎臓の働きが次第に低下し て、体内の老廃物や、余分な水分を排泄できなくなり、 体に尿毒素がたまって、いろいろな症状が現れてきま す。そこで、腎臓の働きを補うために、透析療法が必要 になります。透析療法には、大きく分けて腹膜透析療法 と血液透析療法の2つの方法があります。当院では、血 液透析療法をおこなっています。血液透析療法は血液 を体の外に引き出して循環させ、人工腎臓(血液透析 機器)を通過する間に、血液中の老廃物や過剰な水分 を取り除きます。血液中の老廃物や水分は毎日体内に 溜まっていくので、血液透析療法は1日おき程度行う必 要があります。週3回程の通院と1回4時間の透析が必 要で、生活が制限されてしまいます。血液透析療法を 行う事で、腎不全による体調の悪さはずっと楽になりま す。また、透析患者様は、血液透析療法を一生涯続け ていくうえで食生活の制限など、守らなければならない 事柄がいくつかあります。しかし、その一方で、適切な 透析を続ければ、健康な方と同じように社会生活を続 けることができます。

この度、透析室も新外来棟へ移転しました。以前より広くなり長い透析時間を快適に過ごして頂けるようになりました。また、透析生活を元気に送れるよう各患者様にあった透析治療が行えるようスタッフー同、日々努めています。

●透析室概要

透析日

	月	火	水	木	金	土
午前	\circ	\circ	\bigcirc	\circ	\bigcirc	0
午後	\circ	\circ	\circ	\circ	\circ	0

透析入室時間

午前 8時 1.2時20八

午後 12時30分~13時頃

*夜間は行っておりませんのでご了承下さい。

設備

ベッド数	24床			
透析装置	多人数 24台			
	個人用 1台			
透析方法	血液透析(HD)			









当院は自立支援医療機関(更正医療・腎臓)です。 お盆やお正月で帰省される方などの臨時透析も 承っております。

●お問い合わせ

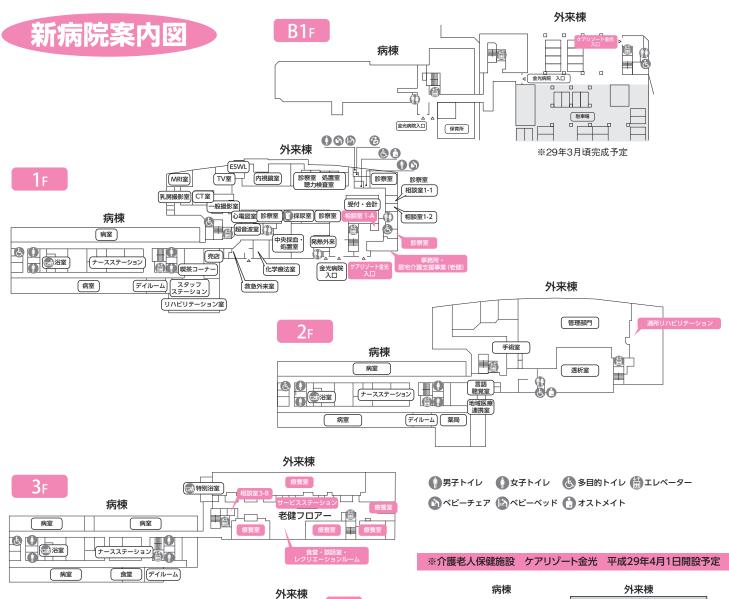
透析室に関するお問い合わせは、地域連携室までお気軽にお問い合わせ下さい。

金光病院

地域連携室 (0865-42-3261)

月~金 8:30~17:00

土 8:30~16:00



研修室



病院施設

老健施設

金光病院の理念

4_F

地域の人々の「健康 | と「命 | を大切にします

金光病院の基本方針

病棟

- 1. 急性期から終末期まですべての領域において全人的医療を行います。
- 2. 患者様の自立を支援し、早期在宅復帰を目指します。
- 3. 謙虚な心、礼節を忘れず、責任を持って最善の努力をします。
- 4. 研修・研鑽に励み、質の高い医療・看護を提供します。
- 5. 地域の中核病院として、周辺医療機関、施設との連携を推進します。







編集

後記



新本館が完成しました。新しい建物に負けることのないよう、気持ちを引き締め 日々頑張っていきます!